

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線D下（濃集分析）

普通角閃石

測線D下（濃集分析）

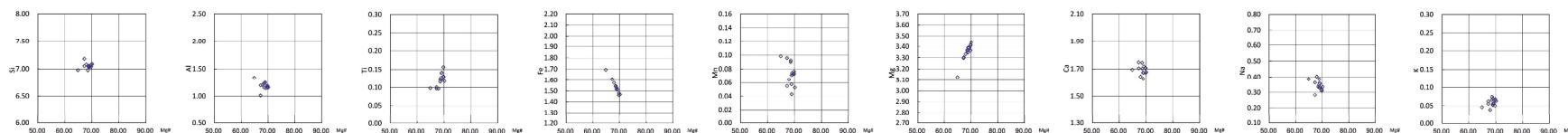
試料番号	総試料1g中の重鉱物含有個数			
	Gho		Cum	
	400	800	1.0	2.0
5.9-6.0				
5.8-5.9				
5.7-5.8				
5.6-5.7				
5.5-5.6				
5.4-5.5 →				
● 5.3-5.4				
● 5.2-5.3				
● 5.1-5.2				
5.0-5.1				

● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

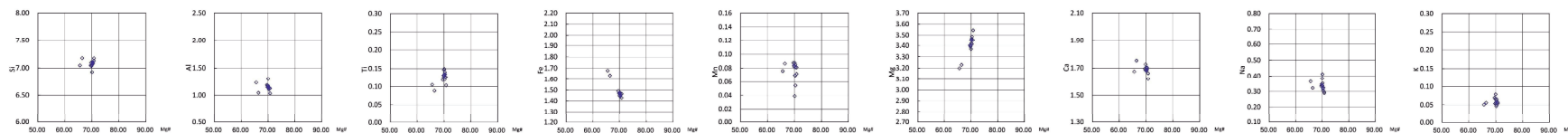
(試料番号)

5.3-5.4



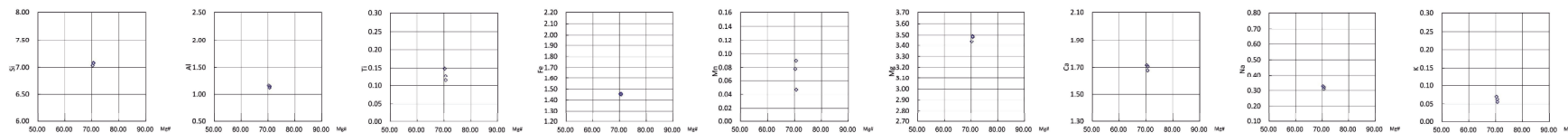
Mg#70付近より
低い測定値を示す
普通角閃石も
認められる

5.2-5.3



Mg#70付近に
測定値が集中

5.1-5.2



3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線D下（通常分析）

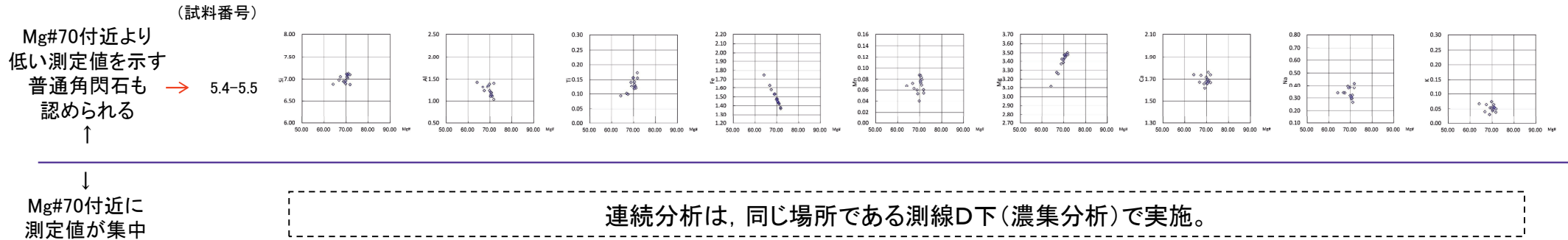
普通角閃石

測線D下（通常分析）

試料番号	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	3.0	6.0	0.1	0.2
● 5.4-5.5 →				
5.3-5.4				
5.2-5.3				
5.1-5.2				
5.0-5.1				
4.9-5.0				
4.8-4.9				
4.68-4.8				
4.6-4.68				
4.5-4.6				
4.43-4.5				
4.3-4.43				

● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準



※試料番号は基本10cm間隔であるが、途中の層相境界を跨がないために不等間隔とした。

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線E (濃集分析)

普通角閃石

測線E (濃集分析)

(試料番号)

試料番号	総試料1g中の重鉱物含有個数	
	GHo 150 300	Cum 2 4
8.8-8.9		
8.7-8.8		
8.6-8.7		
8.5-8.6		
● 8.4-8.5		
● 8.3-8.4		
● 8.2-8.3		
● 8.1-8.2		
● 8.0-8.1		
● 7.9-8.0		
● 7.8-7.9		
7.7-7.8		
7.6-7.7		
7.5-7.6		
7.4-7.5		

● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

8.4-8.5

8.3-8.4

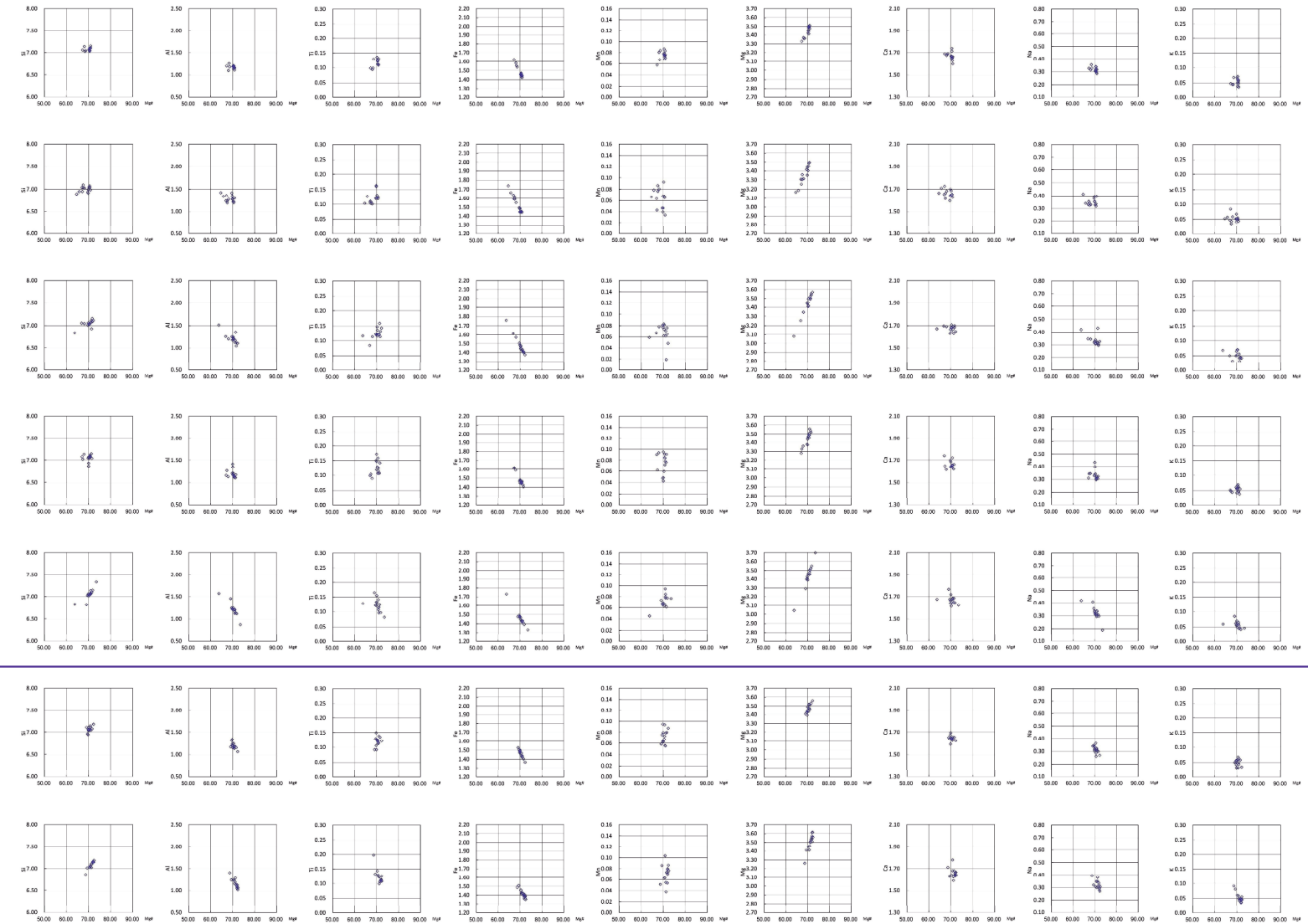
8.2-8.3

8.1-8.2

→ 8.0-8.1

7.9-8.0

7.8-7.9



Mg#70付近より
低い測定値を示す
普通角閃石も
認められる



↓
Mg#70付近に
測定値が集中

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線E (通常分析)

普通角閃石

測線E (通常分析)

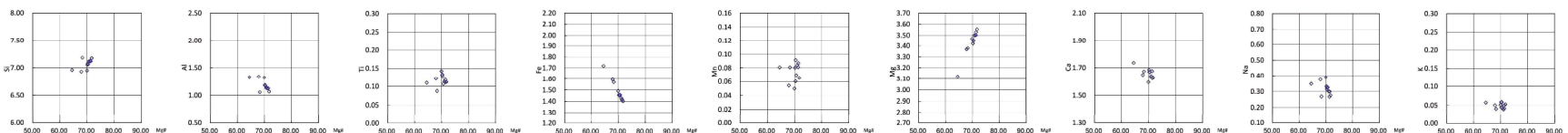
試料番号	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	1.0	2.0	0.1	0.2
9.0-9.1				
8.9-9.0	■			
8.8-8.9	■			
8.7-8.8				
8.6-8.7	■			
● 8.5-8.6	■			
8.4-8.5	■			
8.3-8.4	■			
8.2-8.3	■			
8.1-8.2	■			
8.0-8.1 →	■			
7.9-8.0				
7.8-7.9				

● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

(試料番号)

Mg#70付近より
低い測定値を示す 8.5-8.6
普通角閃石も
認められる



Mg#70付近に
測定値が集中

連続分析は、同じ場所である測線E(濃集分析)で実施。

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線E' (通常分析)

普通角閃石

測線E' (通常分析)

試料番号	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	3.0	6.0	0.1	0.2
5.9-6.0				
5.8-5.9				
5.66-5.8				
5.6-5.66				
5.5-5.6				
5.4-5.5				
5.3-5.4				
5.2-5.3				
● 5.1-5.2 →				
5.0-5.1				
4.9-5.0				
4.8-4.9				
4.7-4.8				
4.6-4.7				
4.5-4.6				
4.4-4.5				

● :主成分分析実施箇所

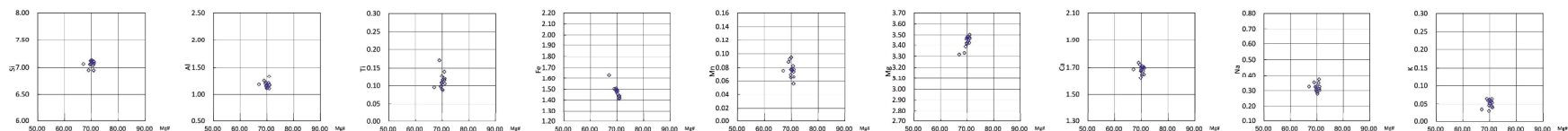
→ :Mh降灰層準

Mg#70付近より
低い測定値を示す
普通角閃石も
認められる



連続分析は、近傍の測線E(濃集分析)で実施。

↓ (試料番号)
Mg#70付近に
測定値が集中 → 5.1-5.2



※試料番号は基本10cm間隔であるが、途中の層相境界を跨がないために不等間隔とした。

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線F (通常分析)

普通角閃石

測線F (通常分析)

試料番号	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	3.0	6.0	0.1	0.2
7.1-7.2				
7.0-7.1				
6.9-7.0				
6.8-6.9				
6.67-6.8				
6.6-6.67				
6.5-6.6				
6.4-6.5				
6.3-6.4				
6.2-6.3				
6.1-6.2				
6.0-6.1				
5.9-6.0				
5.8-5.9				
5.7-5.8				
5.6-5.7				
● 5.5-5.6				
5.4-5.5				
5.26-5.4 →				
5.2-5.26				
5.1-5.2				
5.0-5.1				

● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

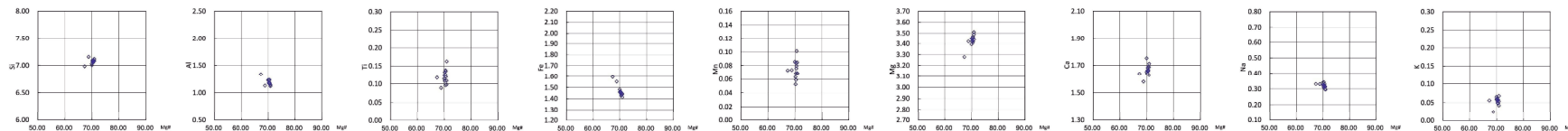
Mg#70付近より
低い測定値を示す
普通角閃石も
認められる



連続分析は、近傍の測線E(濃集分析), 測線G(濃集分析)で実施。

↓ (試料番号)

Mg#70付近に
測定値が集中 5.5-5.6



※試料番号は基本10cm間隔であるが、途中の層相境界を跨がないために不等間隔とした。

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線G (濃集分析)

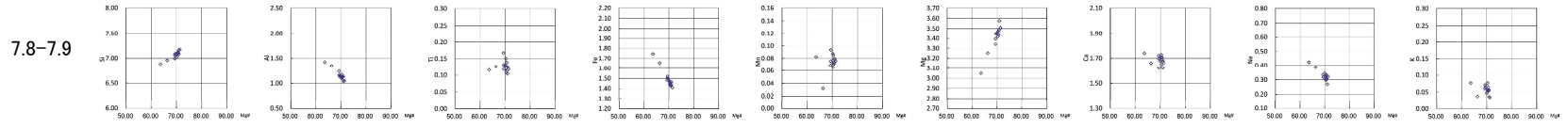
普通角閃石

測線G (濃集分析)

試料番号	総試料1g中の重鉱物含有個数			
	GHo		Cum	
	50	100	2	4
8.4-8.5	■		■	
8.3-8.4	■		■	
8.2-8.3	■		■	
8.1-8.2	■		■	
8.0-8.1	■		■	
7.9-8.0	■		■	
7.8-7.9	■	■	■	■
7.7-7.8	■		■	
7.6-7.7	■		■	
7.5-7.6	■		■	

(試料番号)

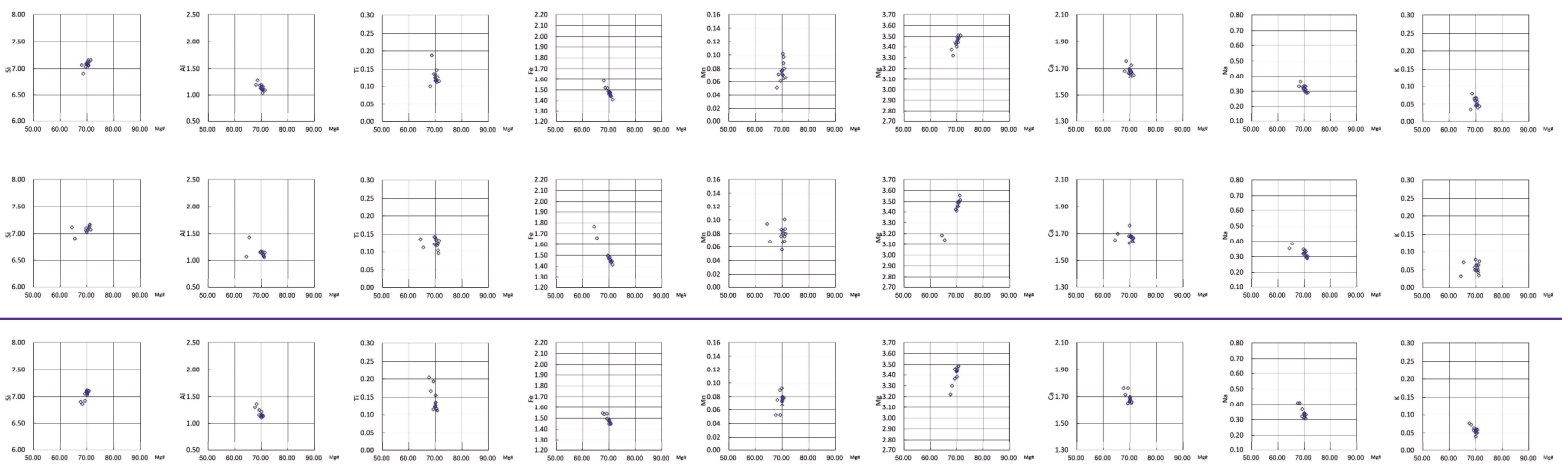
→ 7.8-7.9



7.7-7.8

7.6-7.7

7.5-7.6



● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

Mg#70付近より
低い測定値を示す
普通角閃石も
認められる



Mg#70付近に
測定値が集中



3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線G (通常分析)

普通角閃石

測線G (通常分析)

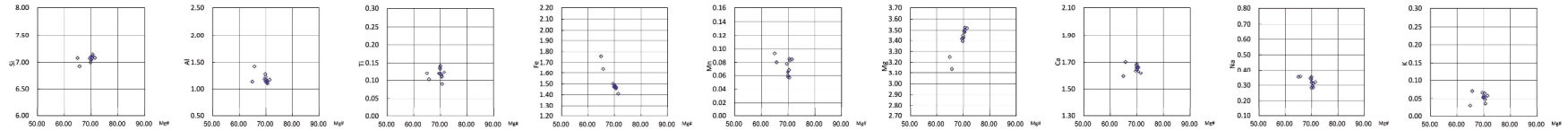
試料番号	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	0.5	1.0	0.3	0.6
8.0-8.1				
7.9-8.0				
● 7.8-7.9 →				
7.7-7.8				
7.6-7.7				
7.5-7.6				
7.4-7.5				
7.3-7.4				
7.2-7.3				
7.1-7.2				
7.0-7.1				

● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

Mg#70付近より (試料番号)

低い測定値を示す
普通角閃石も
認められる → 7.8-7.9



Mg#70付近に
測定値が集中

連続分析は、同じ場所である測線G(濃集分析)で実施。

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線I (濃集分析)

普通角閃石

測線I (濃集分析)

試料番号	総試料1g中の重鉱物含有個数			
	Gho		Cum	
	400	800	0.3	0.6
3.8-3.9	[Bar]		[Bar]	
● 3.7-3.8	[Bar]		[Bar]	
● 3.6-3.7	[Bar]		[Bar]	
● 3.5-3.6	[Bar]		[Bar]	
● 3.4-3.5	[Bar]		[Bar]	
● 3.3-3.4	[Bar]		[Bar]	
● 3.2-3.3	[Bar]		[Bar]	
● 3.1-3.2	[Bar]		[Bar]	
● 3.0-3.1	[Bar]		[Bar]	
● 2.9-3.0	[Bar]		[Bar]	

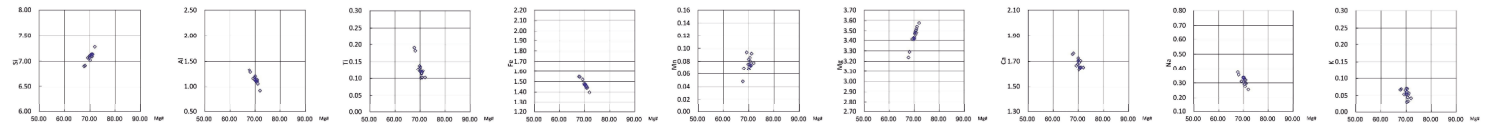
● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

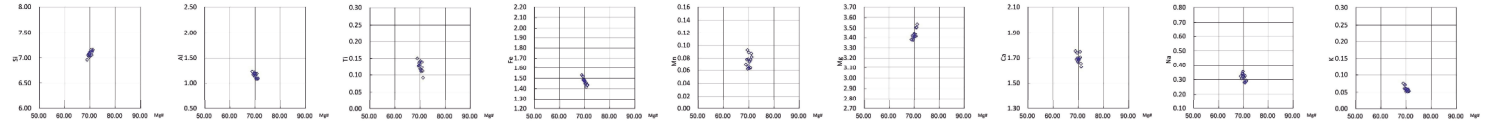
Mg#70付近に
測定値が集中

(試料番号)

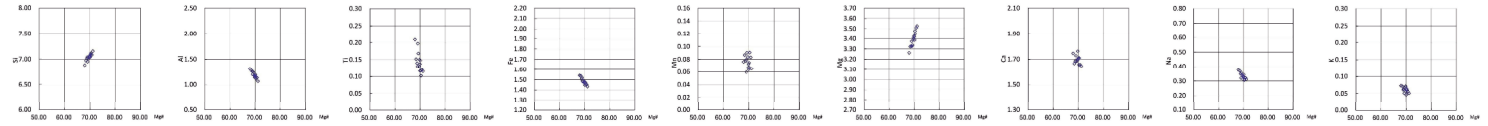
3.7-3.8



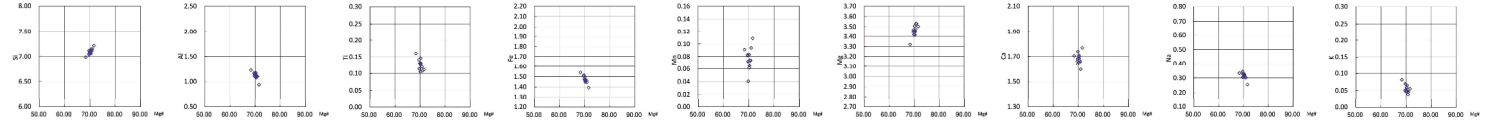
3.6-3.7



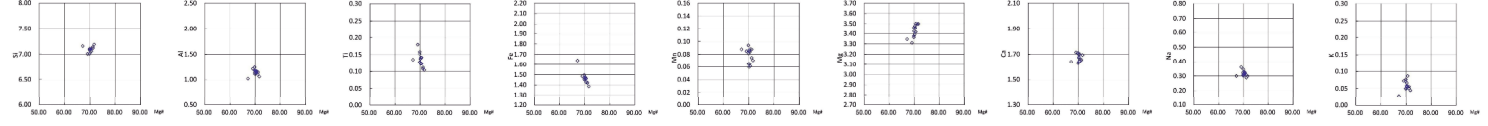
3.5-3.6



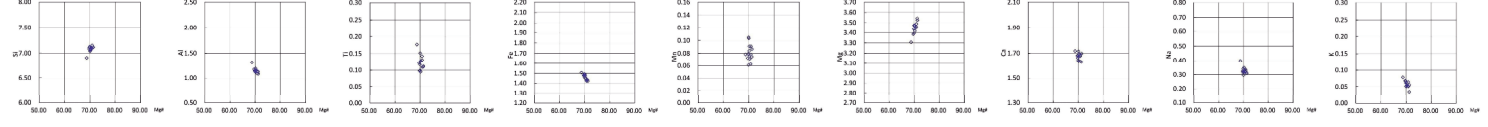
3.4-3.5



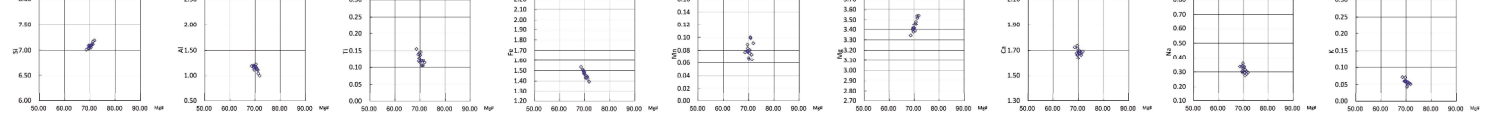
3.3-3.4



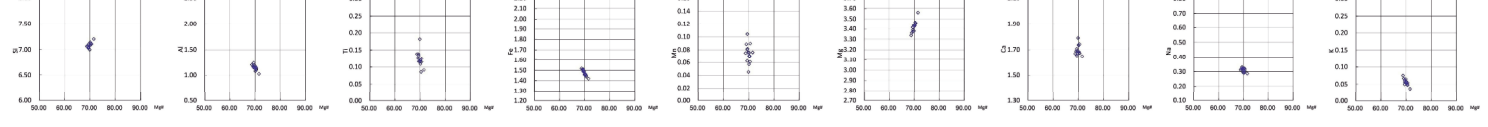
3.2-3.3



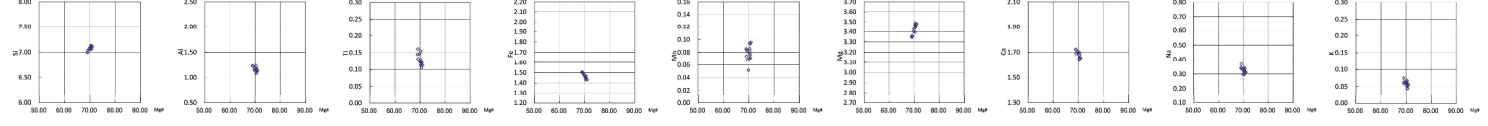
3.1-3.2



3.0-3.1



→ 2.9-3.0



3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線I (通常分析)

普通角閃石

測線I (通常分析)

試料番号	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	2.0	4.0	0.1	0.2
4.4-4.5				
4.3-4.4				
4.2-4.3				
4.1-4.2				
4.0-4.1				
3.9-4.0				
3.8-3.9	■			
3.7-3.8	■			
3.6-3.7	■			
3.5-3.6	■			
3.4-3.5	■			
3.3-3.4	■			
3.15-3.3	■			
3.07-3.15	■			
3.0-3.07	■			
● 2.9-3.0 →	■			
2.8-2.9	■			
2.7-2.8	■			
2.6-2.7	■			
2.5-2.6	■			
2.4-2.5	■			

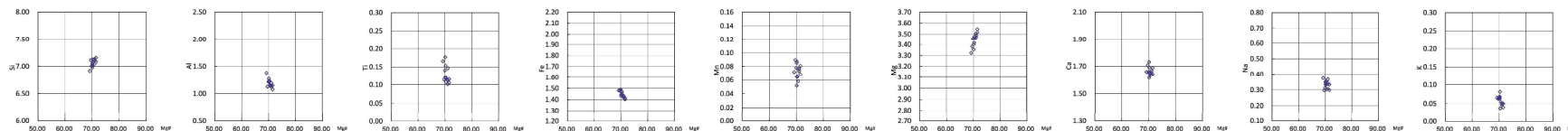
● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

連続分析は、同じ場所である測線I(濃集分析)で実施。

(試料番号)

Mg#70付近に
測定値が集中 → 2.9-3.0



※試料番号は基本10cm間隔であるが、途中の層相境界を跨がないために不等間隔とした。

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線○ (通常分析)

普通角閃石

測線○ (通常分析)

試料番号	重鉍物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	0.1	0.2	0.1	0.2
6.5-6.6				
6.4-6.5				
6.3-6.4				
6.2-6.3				
6.1-6.2				
6.0-6.1				
5.9-6.0				
5.8-5.9				
● 5.7-5.8 →				
5.6-5.7				
5.5-5.6				

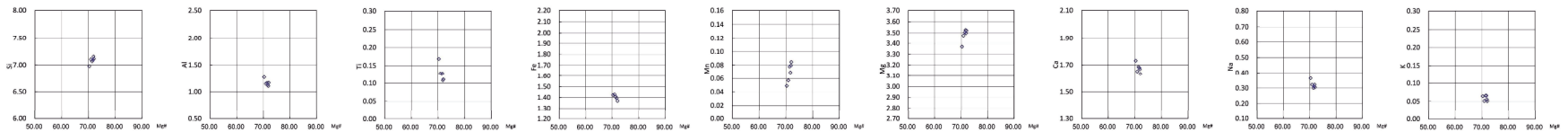
● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

連続分析は、近傍の測線I(濃集分析)で実施。

(試料番号)

Mg#70付近に
測定値が集中 → 5.7-5.8



3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線J (濃集分析)

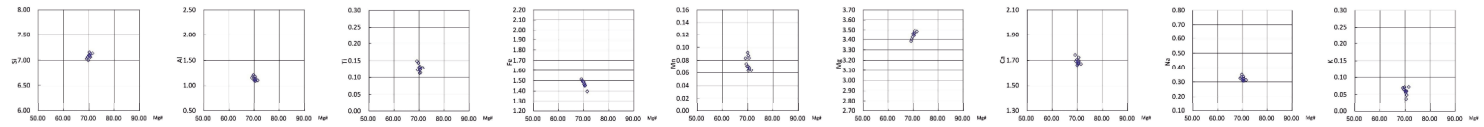
普通角閃石

測線J (濃集分析)

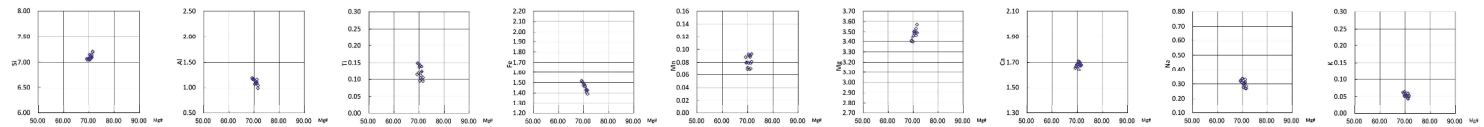
試料番号	総試料1g中の重鉱物含有個数			
	GHo		Cum	
	60	120	0.2	0.4
4.3-4.4				
● 4.2-4.3				
● 4.1-4.2				
● 4.0-4.1				
● 3.9-4.0				
● 3.8-3.9				
● 3.7-3.8				
3.6-3.7				
3.5-3.6				
3.4-3.5				

(試料番号)

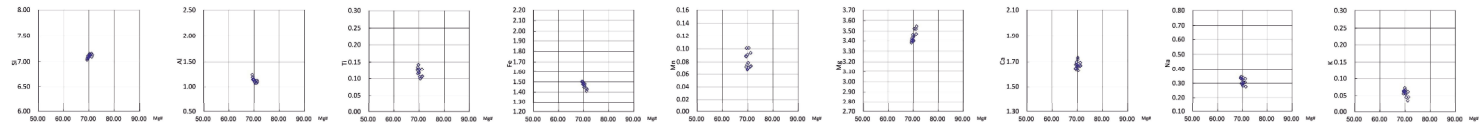
4.2-4.3



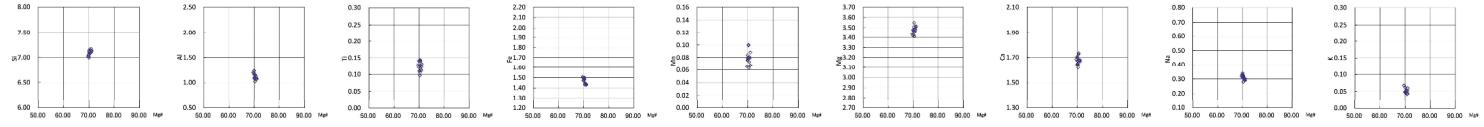
4.1-4.2



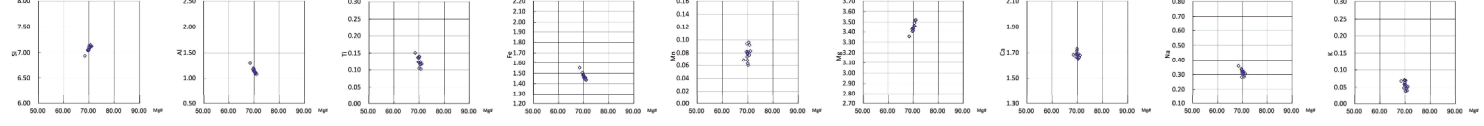
4.0-4.1



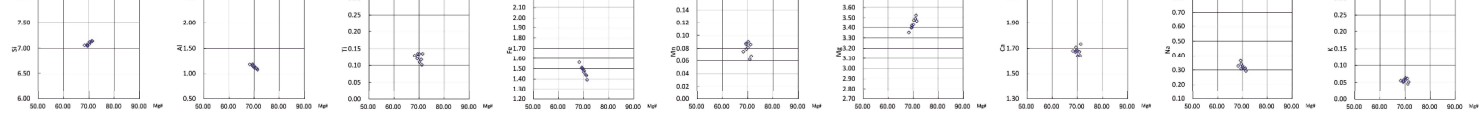
3.9-4.0



3.8-3.9



3.7-3.8



● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

Mg#70付近に
測定値が集中

3. ⑤層下部テフラの分析結果 測線J' (通常分析)

普通角閃石

測線J' (通常分析)

試料番号	重鉍物の含有量 (/3000粒子)			
	GHo		Cum	
	2.0	4.0	0.1	0.2
2.8-2.9				
2.7-2.8				
2.6-2.7				
2.5-2.6				
2.4-2.5				
2.3-2.4				
2.2-2.3				
2.1-2.2				
2.0-2.1				
1.9-2.0				
1.8-1.9				
1.7-1.8				
1.6-1.7				
1.5-1.6				
● 1.44-1.5 →				
1.3-1.44				
1.24-1.3				
1.1-1.24				
1.0-1.1				

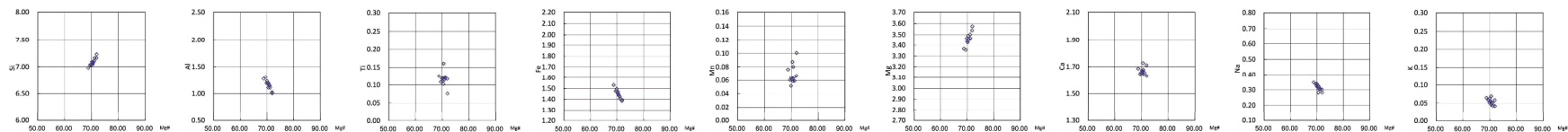
● :主成分分析実施箇所

→ :Mh降灰層準

連続分析は、同じ場所である測線J(濃集分析)で実施。

(試料番号)

Mg#70付近に → 1.44-1.5
測定値が集中



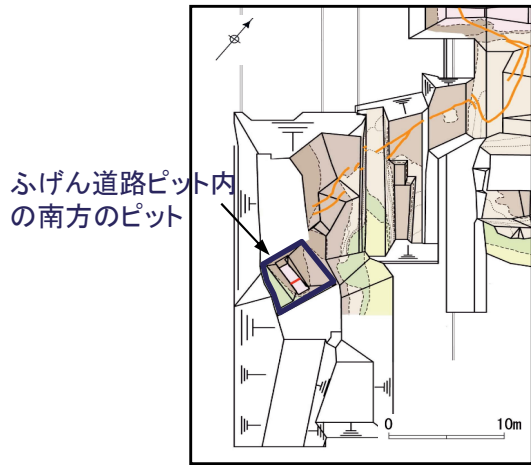
※試料番号は基本10cm間隔であるが、途中の層相境界を跨がないためあるいは礫を避けるために不等間隔とした。

余白

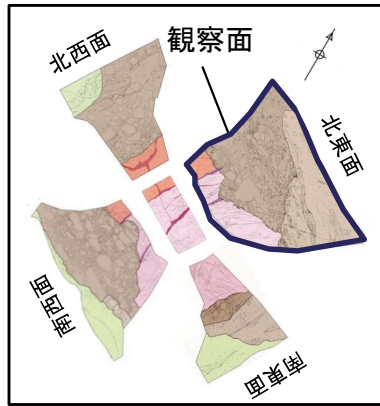
4. D-1 破碎帯ピット調査結果

4. D-1 破碎帯ピット調査結果（北東面スケッチ）

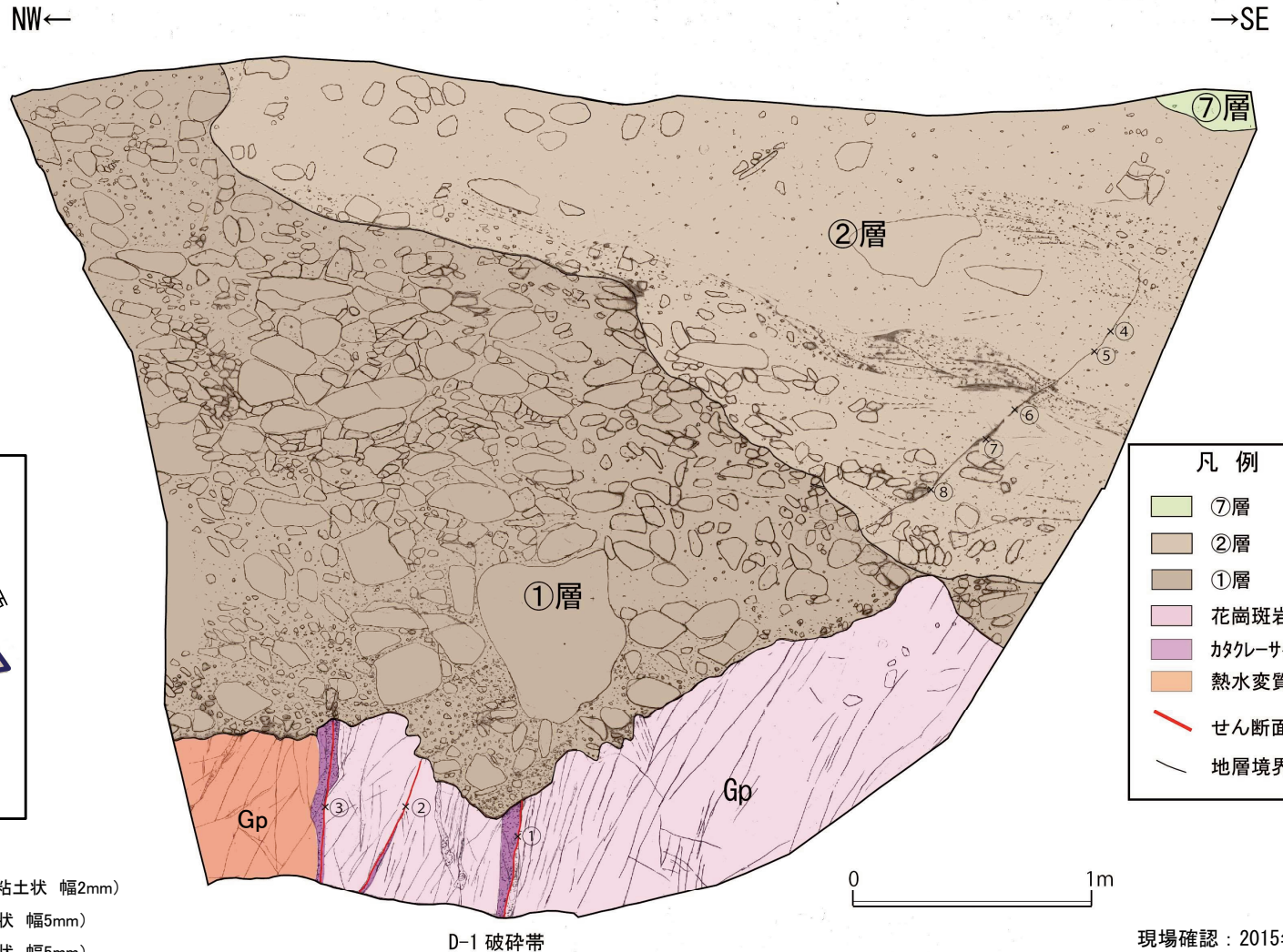
ふげん道路ピット内の南方のピットでは、D-1 破碎帯及び隣接する破碎帯はいずれも①層に変位・変形を与えていない。



調査位置図



ピット内調査位置図



凡例	
	⑦層
	②層
	①層
	花崗斑岩
	カタクレーサイト
	熱水変質部
	せん断面
	地層境界

- ①: f: N26° E82° W 断層ガウジ(にぶい黄橙色砂混じり粘土状 幅2mm)
- ②: f: N11° E87° W 断層ガウジ(明赤灰色砂混じり粘土状 幅5mm)
- ③: f: N11° E62° W 断層ガウジ(明黄褐色砂混じり粘土状 幅5mm)
- ④: f: N56° E74° W
- ⑤: f: N35° E62° W
- ⑥: f: N43° E62° W
- ⑦: f: N28° E62° W
- ⑧: f: N56° E74° N
- f: せん断面

D-1 破碎帯

現場確認：2015年8月

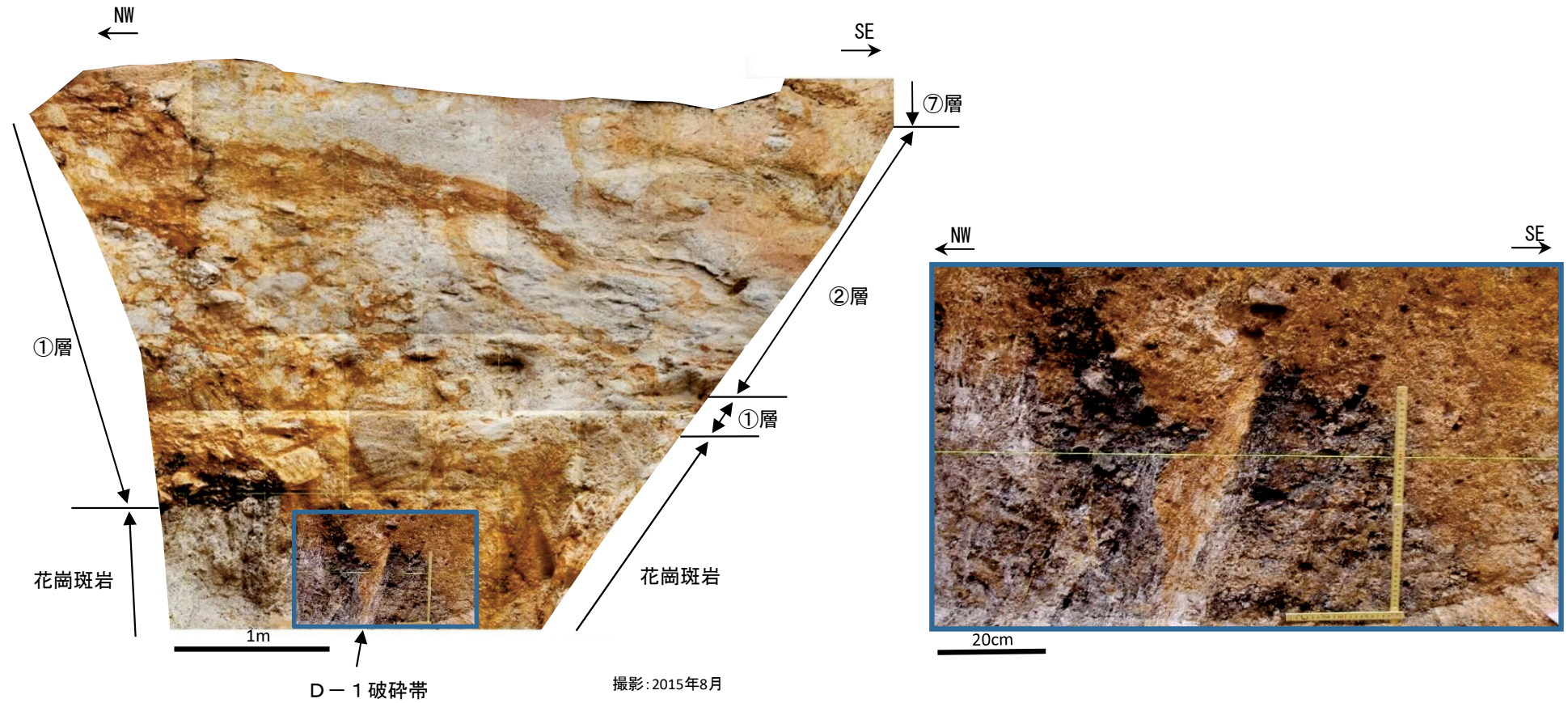
⑦層：礫混じり砂質シルト。褐(7.5YR4/3)。シルトを主体とし、全体に細砂～径10cmの礫が混じる。全体に風化が進み土壌化を受ける。

②層：礫・シルト混じり砂。灰白～灰黄色(2.5Y7/1～2.5Y7/2)。細砂～粗砂からなり、径40cmのGp礫が混じる。くさり礫が混じる。
砂質シルト。灰白色(2.5Y7/1)。シルトを主体とし、細砂が混じる。よく締まっている。

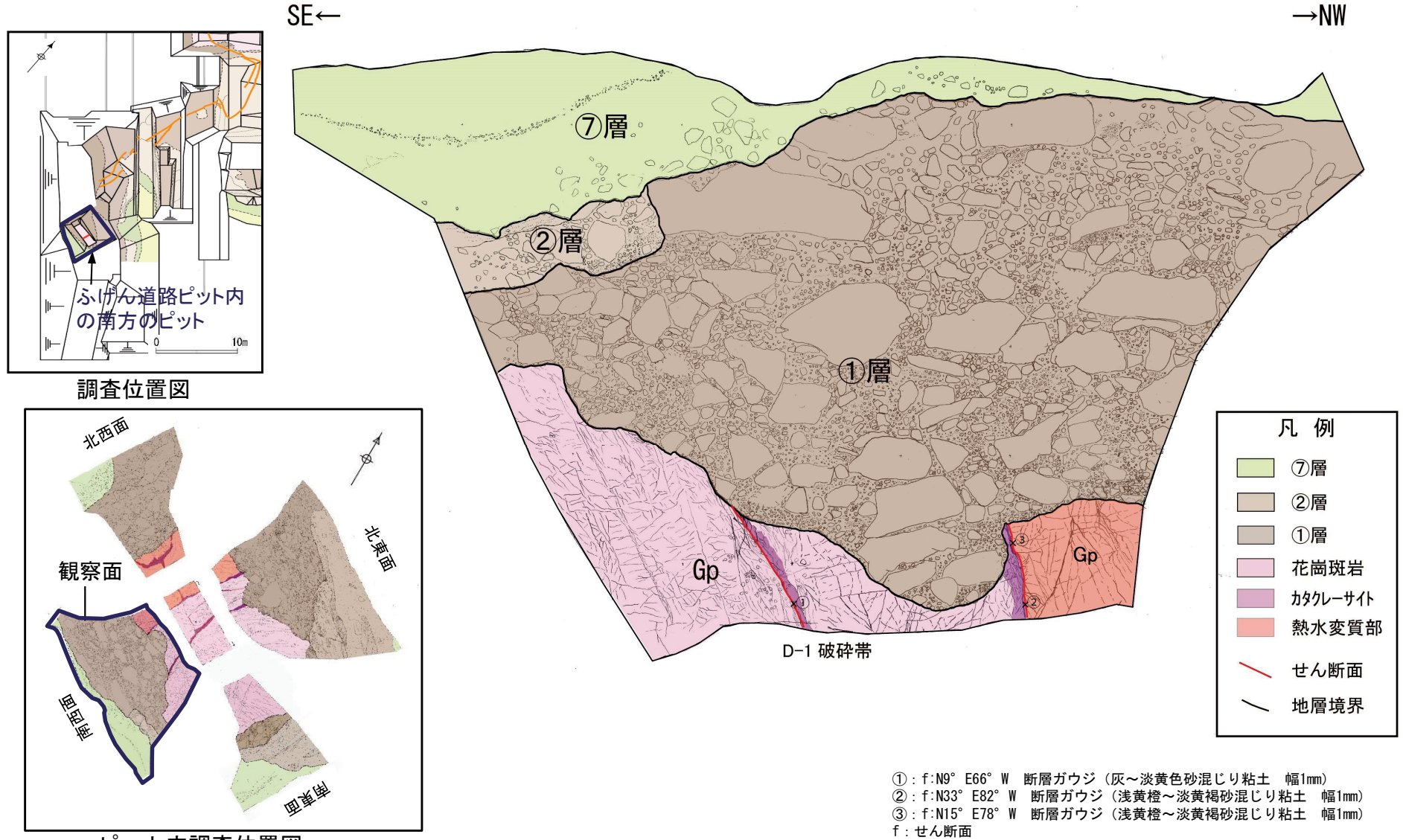
①層：砂礫。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3～2.5Y7/1)。礫は径50cm以下の垂角礫を主体とする。礫率30～60%。淘汰は悪い。基質は粗～中粒砂で固く締まっている。
本層は、せん断を受けておらず、基盤中の破碎帯と断層関係にはない。

Gp：花崗斑岩。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3～2.5Y7/1)。全体に風化を受け、一部土砂状を呈す。また、断層周辺部では、カタクレーサイトが分布し、礫・シルト質状を呈す。

4. D-1破碎帯ピット調査結果（北東面写真）



4. D-1 破碎帯ピット調査結果 (南西面スケッチ)



現場確認：2015年8月

⑦層：礫混じり砂質シルト。褐(7.5YR4/3)。シルトを主体とし、全体に細砂～径10cmの礫が混じる。全体に風化が進み土壌化を受ける。

②層：礫・シルト混じり砂。灰白～灰黄色(2.5Y7/1～2.5Y7/2)。細砂～粗砂からなり、径40cmのGp礫が混じる。くさり礫が混じる。

：砂質シルト。灰白色(2.5Y7/1)。シルトを主体とし、細砂が混じる。よく締まっている。

①層：砂礫。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3～2.5Y7/1)。礫は径50cm以下の垂角礫を主体とする。礫率30～60%。淘汰は悪い。基質は粗～中粒砂で固く締まっている。

本層は、せん断を受けておらず、基盤中の破碎帯と断層関係にはない。

Gp：花崗斑岩。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3～2.5Y7/1)。全体に風化を受け、一部土砂状を呈す。また、断層周辺部では、カタクレーサイトが分布し、礫・シルト質状を呈す。

4. D-1破碎帯ピット調査結果 (南西面写真)

